

2017年11月7日（火）～9日（水）神戸大学附属中等教育学校

1. 震災・復興とリスクマネジメント（○）
2. 国際都市神戸と世界の文化（）
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ（）
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸（）
5. その他（ ）

[概要]

「世界津波の日」2017高校生島サミット in 沖縄

1. テーマと目的

神戸大学附属中等教育学校 SGH「震災・復興とリスクマネジメント」

震災（Disaster）・復興(Reconstruction)・減災（Reduction）・レジリエンス（Resilience）（DR3）をテーマとした体験型プログラム

DR3 プロジェクトの一環として、「世界津波の日」2017 高校生島サミット in 沖縄に参加し、

- (1) DR3 活動の紹介と報告を英語により実施する
- (2) 海外の高校生と交流することを通して、他国の自然災害について学ぶ
- (3) 震災の記憶をどのように後世に伝えていくかを共に考える
- (4) 参加を通して、減災意識を向上させる

ことを主たる目的とする。

なお、本サミットは、2015年12月、国連総会で「世界津波の日」（11月5日）が採択されたことを受けて、高校生の防災意識の向上のために開催されるものである。

2. 島サミット開催のテーマと目的

“みんなを守りたい”津波の脅威を知り、備え、いま自分ができること。～万国津梁の島から発信する”ゆいまーる”の心～

沖縄県と同じような自然環境を有する島しょ国の若者がそれぞれの地域での防災の知見と地震津波の脅威を後世へ語り継ぎ、必要な防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することで、地震津波から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーを育成すること

3. 行程

11月7日	11月8日
1. 開会式 2. 分科会ブリーフィング（グループ内での自己紹介・係りの大学生から分科会のスケジュール説明）	1. 分科会（プレゼンテーション・少人数グループでの質疑応答） 2. 代表生徒による記念植樹 3. 全体記念撮影（海辺にて） 4. 歓送交流会（ラグナガーデンホテルにて）

4. 活動の様子



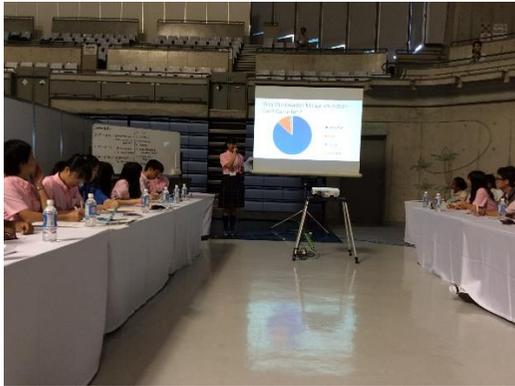
空港での歓迎の様子



分科会ブリーフィングでの自己紹介



分科会チームでの記念写真

		
分科会での発表	分科会での質疑応答	総会
		
歓送交流会での感想発表	歓送交流会でのフィジーの学生との交流	

6. 参加生徒の所感 (いずれも 4 年生)

「世界津波の日」2017 高校生島サミット in 沖縄への参加を通して、世界というグローバルな視点から津波をはじめとする自然災害について考えることができた。他国の高校生とのコミュニケーションの中で、津波に対する意識が様々であることを知るとともに、命を守りたいという根本的な部分是一緒であることを感じたのである。例えば、とある国では津波発生時に冷静さを取り戻すためにダンスを踊るそうである。これは日本においてあまりない発想のため興味深かった。

大変だったこととしてあげられるのは、やはり英語という言語の壁であった。癖の強いなまりのある英語にはとても手を焼いた。これは自分自身の今後の課題ではあるが、積極的に自己主張していくという姿勢である程度カバーできていたのではないかと考える。

全体を通して、大変なこともたくさんあったが、これまで国内の震災の事例にしか目を向けてこなかった私にとって、グローバルな視点で多角的に津波・災害に向き合えたことはとても貴重な経験となった。

私にとって「津波サミット」での学習成果は3つあります。1つ目は海外の高校生と沢山話すことができたことです。人生で何回会えるかわからないような聞いたこともない国からたくさんの高校生が参加していて、そんな高校生と話す機会があったことはとても貴重な経験だったと思います。2つ目は津波に対して向き合えるようになったことです。今まで、自分の住む地域に津波がくる可能性が高いことは知っていましたが、あまり津波に向き合うことはありませんでした。

しかし、今回の津波サミットを通して、世界各地の津波の被害や、その対策を知り、改めて津波に対してもっと向き合えるようになりました。3つ目は世界各地や日本全国の高校生たちに刺激をもらったことです。世界各国の高校生や日本全国の高校生は私以上に英語の能力があり、私以上に積極的に行動していました。その姿をみて私自身の無力さを感じました。津波サミットは本当に大きなイベントですが、自分の力を発揮できる場所でもあり、逆に自分の未熟さに気づかされる場所でもありました。でも、人生で何回経験できるかというくらい本当に貴重な経験ができました。